

大阪人間科学大学 第22回 地域学術交流サロン

東日本大震災から2年、「私たち」の暮らしはいま

～広域避難の子どもたちとともに～

東日本大震災後には、関西に広域避難をされてきた方々も多く、そのなかには子どもたちもいます。2013年3月で東日本大震災から2年になりますが、避難されてきた方々は、新しい土地でどのような暮らしをしているのでしょうか。また、迎え入れる側の者たちは、その方々を、新しい地域の一員としてどう迎えることが出来たのでしょうか。さらに、そのときの「子ども」の思いとは？

このような視点で、「私たち」の暮らしをみつめたとき、それぞれの「震災への向き合い方」があるのではないのでしょうか。そこで今回は、今まであまりとりあげられることがなかった、「震災後の子どもの暮らし」に焦点をあてて考えます。

「子ども」は私たちにとって、「大きな希望」です。子どもたちが輝ける場がある地域は、大人にとっても魅力的な地域であることでしょう。そのような地域にするために、「私たち」ができることは何か、みなさまとともにディスカッションをしたいと思います。

<お申込みについて>

申し込み用紙に必要事項を記入の上、下記の宛先まで郵送またはFAXでお送りください。

【宛 先】（お問い合わせ先）

大阪人間科学大学 学生課 後藤(ごとう) 宛

住 所: 〒566-0012 大阪府摂津市庄屋1-12-13

電話番号: 06-6105-7155(直通)

FAX番号: 06-6381-3502

----- (キリトリ線) -----

(申し込み用紙)

氏 名		男 ・ 女
所属・職種等		
住 所		
電話番号		
FAX番号		